

研究主題

主体的によりよい集団生活の構築や自己実現を目指す生徒の育成
～互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の課題を解決する活動を通して～

1. 議題

「思い出に残る最高の文化発表会にしよう」

2. 議題について

学校の大きな行事として文化発表会がある。本校では、11月3日に文化発表会を計画し、その中で、3年生は、区内連合音楽会への出場をかけた合唱コンクールを実施する。

合唱とは課題曲や自由曲が決定してから本番までの取組み方や練習量で、仕上がり具合が大きく違って来る。つまり、この学級合唱は、大きく学級の団結と個人の意識が問われる行事であると言える。そしてまた、この行事を通して多くの生徒が成就感や達成感を味わい、その後の学校生活に対する積極性や互いの絆の深まりに発展するのである。中学校生活最後の行事を、学級全体で気持ちをひとつにして取り組み、一人一人の心に残るものとし、その後の学校生活、あるいはその後の生き方に繋げていきたい。

中学校生活最後の合唱の発表に向けて、心をこめて歌を歌い、合唱コンクールでは優勝を勝ち取りたいという思いは誰しもが持っている。しかし、まわりの雰囲気の流れに流され、全力を尽くせなかったり、人目を気にして思いきり歌ったりすることができない生徒がいることも確かである。

本学級の雰囲気は全体的に活発な印象であるが、中には自信を持って表現することや、人目を気にして自分の思いを人前で表現することが苦手な生徒もいる。合唱はクラス全員が団結し、ひとつの方向に向かっていかなければ良いものは作れない。学級全体で目標達成に向けて全力で取り組んでいくことを通して、なかなか、自分が良いと思うことを素直に表現できていない生徒も、周囲との団結を通じて自然に自分の思いを表現できる環境を作っていく必要がある。また、集団のために自分ができることを考え、実際に行動に移すことができる学級集団の育成に繋げていきたい。

そして、自分たちの目指す合唱にするための取組みを決め、常に学級掲示しておき、努力したことや成長したことを確かめ合い、最初に自分たちが決めたことが学校生活をよりよくしていることに気付くようにしたい。

3. 指導上の留意点

指導にあたっては、合唱の取組みとして行いたいことのアンケート調査を行い、アンケートの結果を基に学級会係で分析し、学級会の流れを検討する。そして、生徒一人一人が行事の成功に向けて、学級で協力し、一生懸命持てる力を発揮するために自分の考えをもって学級会に臨めるようにする。

また、事前アンケートの際は記録した映像を視聴し、今までの3年生の先輩がどのような思いで最後の合唱コンクールに取り組んでいたのかを掴ませたい。心に残る合唱には何が必要で、一人一人がどう心がけなければならないのかを考え、学級全体で確認する機会を持ち、真剣に取り組む雰囲気を作り出したい。学級会での合意形成による決定事項をもとに、これから自分がどのように学校生活を送っていくか意思決定することで、事後の実践につなげ、学級集団の質を高めるようにする。

4. 目標

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	○ 学級で協力して行事を成功させるために、意欲的に話し合ったり、決定内容を実行したりしようとする。
集団の一員としての 思考・判断・実践	○ 自分と相手の考えを基に、合意形成を図りながらよりよい考えをつくり出すことができる。 ○ 学級で決定したことや自己目標の達成に向けて、実践することができる。
集団活動や生活に についての知識・理解	○ 司会グループの役割を理解する。 ○ 合意形成を図るための意見の出し方を理解する。

5. 事前の活動

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価規準及び評価方法
1 学級アンケート調査	○ アンケートについては個人の意見をしっかりと記入させるようにする。	【関】学級で協力して行事を成功させようと、よく考えて、記入している。（態度・記述）
2 学級会の準備 ・アンケートの集計 ・議題の選定と提案理由の決定 ・本時の活動計画の作成	○ 生徒の意見を踏まえ、本時の流れなどを検討し、活動に見通しをもたせる。	【知】司会グループの役割を確認しながら準備を進めている。（態度・発言）

6. 本時の展開 平成30年10月10日（水曜日） 第6校時 3年2組教室

(1) 本時のねらい

- 学級合唱への取組みに対する意欲を高め、団結・協力の姿勢を大切にして、学級としての合唱の取組み方を決めることができるようにする。
- 自分と相手の考えを比べ合い、合意形成を図りながらよりよい考えを出すことができるようにする。

(2) 準備

電子黒板、振り返りシート、提案理由を書いた模造紙、学級会ファイル、黒板掲示用プレート

(3) 本時の展開

主な活動内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準（評価方法） ★ 特別な教育的支援を要する生徒への困難とされる場面での支援
<p>議題 「思い出に残る最高の文化発表会にしよう」</p> <p>提案理由 先月、文化発表会と合唱についてアンケートをとりました。アンケートでは先輩達の一生懸命な姿が印象に残っているという感想が多くありました。</p> <p>今年、自分達が3年生として文化発表会を盛り上げるために、一生懸命合唱の練習に取り組むことが必要だと思います。そこで、合唱の発表をより良くするためにみんなでアイデアを出して、私たちのクラスらしい取組みや工夫を決めたいと思い、提案しました。</p> <p>[めあて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 思い出に残る最高の文化発表会にするために学級で取り組むことを決めよう ○ 時間を効率よく使って、みんなが納得する話し合いをしよう 	

<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 議題と提案理由、アンケート結果の紹介</p> <p>3 めあての確認</p>	<p>○ 司会の説明を必要に応じて補足し、本時のねらいを理解させる。</p> <p>○ アンケート結果をまとめ、電子黒板で提示することで視覚的に理解できるようにする。</p> <p>★ アンケート結果をまとめ、電子黒板に提示することで、視覚的に理解し、話し合い活動の一助とする。</p>
<p>4 話し合い (柱) 練習期間中や本番の取組を決めよう。</p>	<p>○ 学級会係が主体的に学級会を進めることができるように、教師は見守る姿勢を基本とする。</p> <p>○ 学級会の流れと話し合いの時間を提示し、見通しをもって取り組めるようにする。</p> <p>○ 自治的活動の充実を図るために、指導・助言等の精選を意識する。</p> <p>○ 話し合いの方向がずれたり、自治的活動の範囲外の要素が感じられたりしたときは、適切な助言を行う。</p> <p>★ 話し合いの内容が理解できていない場合は助言をする。</p> <p>【関】話し合い活動で、意欲的に発言したり友人の発言に耳を傾けたりしている。 (発言内容・表情・態度)</p> <p>【思】【知】自分と相手の考えを比べ合い、合意形成を図りながら、よりよい考えを出すことができる。 (発言内容)</p>
<p>5 決まったことの確認</p>	
<p>6 振り返り</p>	<p>○ 授業の振り返りだけでなく、自己目標として意思決定したことを書かせ、実践への意欲を高める。</p> <p>【思】学級で決定したことや自己目標の達成に向けた実践について考えることができる。 (振り返りシート)</p>
<p>7 先生の話</p>	<p>○ 本時の話し合いで良かった点を具体的に挙げて賞賛する。</p> <p>○ 話し合いで決まったことに積極的に取り組めるように意欲付けする。</p>
<p>8 終わりの言葉</p>	

7. 事後の活動

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価規準及び評価方法
<p>1 学級で決めたことや自己目標として意思決定したことを実行する。</p>	<p>○ 学級で決めた取組を意欲的に実践することで充実感を味わい、よりよい学級にしようという意欲が高まるように指導する。</p>	<p>【思】学級で決定したことや自己目標の達成に向けて、実践することができる。 (行動観察)</p>
<p>2 取組の達成度を再確認し、今後の取組に生かす。</p>	<p>○ 成果と課題を明確にし、実践の日常化を図る。</p>	